『独立役員のためのＩＦＲＳ講座』

～取締役会での議論に一石を投じるために

カリキュラム案

■　第1回　２０１１年7月１４日（木）　１６：００～１８：００
『ＩＦＲＳ基礎講座～初心者でも理解できるように、基礎からかみくだいて解説』

16：00～17：00	17：00～18：00
１．ＩＦＲＳの本質 ■原則主義・実質重視・見積もり重視の意味 ■ＢＳ・ＰＬのどこが変わるか **２．売上高が変わる** ■ＩＦＲＳ収益認識基準の最新動向 ■ポイント発行、代理店取引の実務処理 ■「ＩＦＲＳは着荷基準」の誤解 ■工事進行基準を使用するための条件 **３．費用の計上基準が変わる** ■合理的見積もりが必要な減価償却 ■のれんの償却がなくなる ■開発費の資産計上 ■特別損益廃止と、非継続事業損益の区分表示	**４．包括利益計算書の導入** ■財務３表のつながりが復活 ■包括利益が株価に与える影響 **５．保有不動産の評価が変わる** ■日本の不動産時価会計は道半ば ■ＩＦＲＳの不動産時価会計 ■開発型ＳＰＣの時価開示 **６．金融資産の評価が変わる** ■公正価値と償却原価、使い分けのポイント ■持ち合い株式の会計処理 **７．負債の評価が変わる** ■退職給付会計の変更 ■ＩＦＲＳリース会計基準の最新動向

■　第2回　２０１１年7月２１日（木）　１６：００～１８：００
『ＩＦＲＳ導入のメリット・デメリット～ＩＦＲＳ導入にからむ取締役会の議論に一石を投じる』

16：00～17：00	17：00～18：00
１．誤解にもとづくＩＦＲＳ批判 ■ＩＦＲＳは時価至上主義という誤解 ■当期利益が重視されなくなるという誤解 ■ＩＦＲＳは製造業にむかないという誤解 ■出荷基準が使えなくなるという誤解 ■工事進行基準が使えなくなるという誤解 **２．ＩＦＲＳの問題点を正しく批判** ■実質重視で、実務細則が不足 ■ムービング・ターゲットの問題 ■税制と乖離する問題 ■連単で異なる会計基準を使う問題 ■開示項目が大幅に増加する問題	**３．ＩＦＲＳを前向きに活用する** ■時価会計を適切に使いこなす ■連結経営管理の精度を高める ■管理会計の精度を高める ■内外子会社に共通の基準を使う ■原則重視・実質重視を生かす **４．内外のＩＦＲＳ導入議論を比較** ■米国での導入に向けた議論 ■韓国での導入に向けた議論 ■わが国の導入賛成派・反対派

※カリキュラムは予告なく変更となる場合があります

■　教科書
『ＩＦＲＳで企業業績はこう変わる』　窪田真之著（日本経済新聞出版社、2011 年）1,785 円（税込）